

核戦争を防止する石川医師の会

「はだしのゲン」寄贈運動

野々市市、内灘町、七尾市に広がる

核戦争を防止する石川医師の会（以下、反核医師の会）では生命と健康を守る医師の責任として、核兵器のない世界を実現し、未来の子どもたちに平和で豊かな地球を引き継ぐために、非核平和の運動を進めています。被爆者が高齢化し、語り部が少なくなっている現在、私たちは核戦争による被害、被爆の実相を子どもたちに伝える参考図書として、漫画『はだしのゲン』（中沢啓治作／全一〇巻）を県下の小中学校図書室への寄贈運動を進めています。

昨年一二月の金沢市内の小中学校に続いて、今年度は野々市市、内灘町、七尾市の各教育委員会に『はだしのゲン』の所蔵状況と寄贈希望につき調査していただきました。ほとんどの小中学校で『はだしのゲン』（日本語版）を所蔵しているが、よく読まれて破損、欠巻があるため所蔵の有無にかかわらず多数の寄贈希望がありました。別表にあるように反核医師の会にこれまで寄せられた募金（三三九、四九五円）にもとづき、それぞれ希望された学校に計四一セットを寄贈することができました。

野々市市ではすべての小中学校（六校）が所蔵しており、貸出冊数が月二〇回〜三〇回という学校が三校もありました。九月二日、同市教育委員会への寄贈の際、他に希望があった「英語版」は学校図書室の予算計上を要請しました。一〇月五日、内灘町では英語版、ロシア語版を翻訳・出版したプロジェクト

クト・ゲン代表らも同席して寄贈式が行われ、西尾雄次教育長に中学校と町立図書館への「英語版」二セット購入を依頼し、快諾を得ました。一〇月九日に開かれた七尾市の寄贈式では、三浦光雄教育長と読書感想文のコンクールも話題になりました。

「はだしのゲン」をひろめる会設立へ

今後は、「原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝え、核兵器廃絶と平和の思いを国内外の次世代に継承していくため『はだしのゲン』の普及・読書運動を進める事業を行い、核兵器のない世界をめざす運動を発展させる」（NPO法人「はだしのゲン」をひろめる会設立趣意書）ために反核医師の会、プロジェクト・ゲン、石川県生活協同組合連合会が中心となってNPO法人を設立し、市民参加による運動を継続していきます。

特定非営利活動法人

「はだしのゲン」をひろめる会設立総会

日時 一二月九日（日）一〇時〜一二時
 会場 近江町交流プラザ四階研修室
 記念企画 ドキュメンタリー映画「はだしのゲンが見たヒロシマ」DVD上映（石田優子監督）
 主催 「はだしのゲン」をひろめる会準備会
 事務局 核戦争を防止する石川医師の会

核戦争を防止する石川医師の会の『はだしのゲン』寄贈の進捗状況

年月日	自治体名	小学校	中学校	計
2011年12月	金沢市	11セット	2セット（英語版1）	13セット
2011年1月	能美市	1セット	1セット（英語版）	2セット
2012年9月	野々市市	3セット		3セット
2012年10月	内灘町	5セット	1セット	6セット
2012年10月	七尾市	12セット	5セット	17セット
計				41セット